

2025 年 5 月 9 日

報道機関 各位

東京大学中東地域研究センター（UTCMS）主催
「中東・イスラーム世界の果て：遠隔地と中心から見る
人々の姿」の開催について（ご案内）

東京大学中東地域研究センター（UTCMS）主催の公開講演会「中東・イスラーム世界の果て：遠隔地と中心から見る人々の姿」を下記の日程で開催いたします。

つきましては、本催事に関して、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

名 称 : 中東・イスラーム世界の果て：遠隔地と中心から見る人々の姿
日 時 : 2025 年 5 月 24 日（土） 13 時 30 分～15 時 30 分（開場 13 時 15 分）
場 所 : 富山国際会議場 2 階 203 号室（〒930-0084 富山市大手町 1 番 2 号）
主 催 : 東京大学中東地域研究センター（UTCMS）
共 催 : 富山大学人文学部
概 要

富山大学人文学部との共催により、4 人の専門家が登壇する東京大学中東地域研究センター（UTCMS）公開講演会が、富山国際会議場で開催される。参加費無料、会場準備のため事前の参加登録が推奨される。同講演会の富山での開催は、2017 年いらい 8 年ぶり。講演では、中東から日本、ラテンアメリカ、中国など世界各地に広がる人びとの移動やネットワークに着目した 4 つの発表が予定されている。富山出身者でもある木村風雅（東京大学）は、富山ほか日本に暮らすイスラーム教徒について概説する。宇田川彩（東京理科大学）は、中東からラテンアメリカに移住したユダヤ人が実践する日常に関して講演を行う。続いて、鈴木啓之（東京大学）がパレスチナの人々が故郷を離れて離散する過程で残した記録に関して講演を行い、最後に高橋英海（東京大学）がユーラシア大陸を通じて中国まで届いたシリア・キリスト教の思想的展開に関して講演を行う。

※詳細は別添のポスターをご参照ください。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学人文学部

Email : jinbuns@adm.u-toyama.ac.jp

東京大学中東地域研究センター（UTCMS）

Email : info@utcms.c.u-tokyo.ac.jp

東京大学中東地域研究センター(UTCMES)
公開講演会

中東・イスラーム世界の果て

遠隔地と中心から見る人びとの姿

2025

5.24 13:30~15:30(開場13:15)

富山国際会議場 2階203号室
(富山県富山市大手町1番2号)

参加費無料・参加登録推奨
どなたでもご参加いただけます

参加登録(下記フォームまたはQRコードより)
<https://forms.gle/zRe9JrhP2ANxdwen9>



FAX 03-5454-6441
TEL 03-5465-7724(月~木 10:30~16:00)

*未登録で会場にお越し頂いた場合、席数の関係が
ちで参加頂けない場合があります。可能な限り、事前の
参加登録をお願いいたします。

【主催】
東京大学中東地域研究センター(UTCMES)
〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
E-mail info@utcmes.c.u-tokyo.ac.jp
TEL 03-5465-7724

【共催】
富山大学人文学部

できる限り公共交通機関のご利用を願いますが、お車でお越しの方
は富山国際会議場併設駐車場をご利用ください。



挨拶

富山大学人文学部長 伊藤智樹



木村 風雅(UTCMES・特任助教)

地方から考える中東・イスラーム



宇田川 彩(東京理科大学・講師)

ユダヤ人と「郷土」のイメージ：
複数の起源と離散



鈴木 啓之(UTCMES・特任准教授)

パレスチナ人と離散の記憶：
人びとは何を書き残したのか



高橋 英海(UTCMES センター長・教授)

ティグリスから渭水へ：
シリア・キリスト教の中国での展開

